キャラクター名	プレイヤー名
今剣	

ポジション	ジャンク	**享年**	
メインクラス	レクイエム	**暗示**	【物語】
サブクラス	ステーシー	**寵愛点**	36

初期配置	花園
最大行動値	13

能力値	クラス	修正	合計
武装	3	0	3
変異	1	2	3
改造	0	0	0

記憶のカケラ	内容
【欠損】	嗚呼、もう刀としての役目を果たすことが出来ない…酷く悲しかったことをおぼえている。
【紅葉】	秋になり、赤く色づいた紅葉が山を覆っている。その美しい彩りをおぼえている。
【飲み物】	以前にも、こうして飲み物を買ったような気がする。その時にも、自分の隣には薄緑様がいて。その時にも、自分の隣には薄緑様がいて。「どうやら色んな種類があるようだな」そんな風に言って、楽しそうに選んでいたような…。
【和菓子】	以前、和菓子を買って食べたことがあるような気がする。確か1個の大福を半分こにして、薄緑様と分け合って食べた筈だ。「これは、とても美味しいな」なんて、美味しそうに食べている姿を見たことがあったような…
【殺害】	刀を構えた薄緑に、己の渾身の一撃を叩き込む。…太刀『薄緑』が折れる。何故、どうして、分からない。ぐちゃぐちゃになった気持ちのまま、彼の亡骸を抱きしめて泣いた。不意に床に落ちたままの彼の刀を見て、思った。せめて形見だけでも、大切に仕舞い込まなくては…
【忘却】	「嫌だ、嫌だ、忘れたくない!!!」必死に叫んで、叫んで。それでも押さえつけられ、注射を打たれて…そこから先は曖昧だ。…自分は一体、何を忘れてしまったのだろうか?
【繰り返し】	薄緑様の亡骸に縋って泣いていた時、男達が現れた。「実験は成功か。…しかし、再現性がなくてはな。実験とはそういうものだ」虚ろな目をした刀剣男士らが、自分を床に押さえつける。「さあ、次も期待しているよ。ひとまずは全て忘れてしまうといい」男が自分に何かを注射し、薄れゆく意識のなか、薄緑様の飾りを取り外して、黒い箱にしまい込む様子を見た。「形見くらいは残してやろう。俺はこれでも、慈悲深いんでね」

未練

対象	種類	狂気点		発狂時ペナルティ
たからもの	依存	3	①②③④⑤	パーツとして所持。破壊で狂気点+1
薄緑（膝丸）	独占	3	①②③④⑤	
		3	①②③④⑤	
		3	①②③④⑤	
		2	①②③④⑤	
		3	①②③④⑤	

マニューバ

タイプ	損傷	名前	使用	タイミング	コスト	射程	効果
ポジション		手負いの獣		オート	なし	自身	攻撃判定において、パーツがすべて損傷した箇所につき＋1の修正
メインクラス		銃神		オート	なし	自身	射撃攻撃マニューバの判定において、出目を＋1してもよい
メインクラス		子守歌		オート	なし	自身	BPで射撃攻撃マニューバの判定出目-1、コスト-1（最低1）
サブクラス		失敗作		オート	なし	自身	攻撃判定、切断判定に出目＋1、ただしバトルパートにてターン終了時と戦闘終了時に任意のパーツを損傷する
サブクラス		死人の流儀		ジャッジ	効果参照	0-1	コストの代わりに任意の基本パーツを1つ損傷する。支援2か妨害2
				オート			
頭		のうみそ		オート			＋2
頭		めだま		オート			＋1
頭		あご		アクション	2	0	肉弾攻撃 1
頭		偵察力（けもみみ）		オート			+1。このパーツを行動判定で使用した際、大失敗してもパーツは損傷しない。
頭		烏天狗兜（よぶんなあたま）		オート			＋2
				オート			
腕		こぶし		アクション	2	0	肉弾攻撃 1
腕		うで		ジャッジ	1	0	支援 1
腕		かた		アクション	4	自身	移動 1
腕		小さな手（おとこのこ）		オート	0	自身	対話判定+1してもよい
腕		号：今剣（スコップ）		アクション	2	0	白兵1＋切断（相手は切断判定+2）、防御によって軽減されない
腕		弓兵（ショットガン）		アクション	2	0-1	射撃1＋爆発、攻撃判定の出目＋1
腕		銃兵（アンデッドガン）		アクション	3	1-2	射撃1＋爆発＋全体攻撃
腕		お守り[極]		オート			たからもの
腕		号：岩融（納刀状態）		ダメージ	1	自身	防御1+切断無効
				オート			
胴		せぼね		アクション	1	自身	次カウントで使うマニューバ1つのコスト-1
胴		はらわた		オート			
胴		はらわた		オート			
胴		しんぞう		オート			＋1
				オート			